

令和6年第2回山元町議会定例会 一般質問通告一覧

令和6年6月10日（月）・11日（火） 午前10時 開会

質問日	No.	通告者	件 名	答弁者
6 月 10 日 (月)	1	高橋真理子	1 魅力ある町づくりについて 2 職員の職場環境等について	町 長 教育長
	2	伊藤 貞悦	1 「地区懇談会」で出されたこれからの「町づくり」について 2 20年30年後の「町づくり」について	町 長 教育長
	3	大和 晴美	1 ヒトパピローマウイルス（HPV）感染症を防ぐワクチンについて 2 空き家対策について	町 長
	4	岩佐 秀一	1 河川管理について 2 害虫駆除支援について	町 長
6 月 11 日 (火)	5	齋藤 俊夫	1 組織力を活かした町政運営の展開について 2 ハラスメント対策の強化による町のイメージアップについて 3 真摯な議会对応による合意形成と信頼関係について	町 長
	6	岩佐 孝子	1 行ってみたい、来てみたい、そして住みたくなる町づくりについて 2 さらなる町の知名度アップについて	町 長
	7	遠藤 龍之	1 町営住宅の取り組みについて 2 学童保育の取り組みについて 3 第6次山元町総合計画の取り組みについて	町 長

（7人 16件）

通告番号	1	2 番 高橋 眞理子 議員
------	---	---------------

質 問 内 容	答 弁 者
1 魅力ある町づくりについて この度、民間組織「人口戦略会議」が公表した報告書によると、県内の全 35 市町村のうち 19 市町が、30 年後に 20～39 歳の若年女性人口が 5 割以上減ると推計され、存続困難な「消滅可能性自治体」となった。本町は 2014 年の「日本創成会議」で指摘され、今回は脱却したが楽観視はできない。限られた資源の中、「若者や子育て世帯に選ばれる町」に向けて、次のことについて伺う。 (1) 快適に暮らせる居住環境（住宅・憩いの場等）の計画について (2) 子育てしやすい生活環境（不妊検査/不妊治療助成・屋内遊び場・ICT 教育等の特色ある学校教育など）の充実について (3) 子育て、家庭、親子関係等の相談を LINE で相談できる窓口の開設について (4) 企業誘致など働く場の確保（スモールビジネス等）について (5) 関係・交流人口の増加に繋げる地域おこし協力隊の活用について	町 長 教育長
2 職員の職場環境等について 自治体職員の退職者が 2013 年度から約 10 年で 2.2 倍となり、報道によると待遇への不満や業務量の増加等が影響しているとみられ、中でも 30 代までの若手が全体の 3 分の 2 を占めるということであった。本町の職場環境等に悪循環が起きていないか、以下のことについて伺う。 (1) 昨年度のプロパー職員の退職者数とその理由について (2) 事務事業量に対するプロパー職員の人数は適正か。 (3) 報・連・相を行いやすい環境づくりが適切に進められているか。 (4) カスタマーハラスメント（カスハラ）に対する組織的な対応の具体策について (5) 女性職員の管理職登用の取り組みと方針について (6) 職員が職場の魅力を感じ取れる研修を取り入れる考えについて	町 長

通告番号	2	12番 伊藤 貞悦 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
1 「地区懇談会」で出されたこれからの「町づくり」について 令和5年度に実施された「地区懇談会」において出された各種意見や要望について伺う。 (1) 今回の「地区懇談会」についてどのように評価されているか。 ア 町民の意識や町に対する要望・方向性について イ 457人の参加者数について。(含む年齢別・男女別・開催場所や時間帯) (2) 各行政区から出された以下のことについて伺う。 ア 令和6年度予算に具体的な要望事項等は考慮されているのか。 イ 意見や要望事項に関して、何年計画で、今後どのように取り組んでいく考えなのか。 ウ 意見や要望に対して、各区長を通じて報告するとの事であったが、個々の意見や質問ごとに個別に回答するのか。 (3) 今回出された意見や要望の中には、町全体で取り組まなければならない内容があると思われるが、どのように進めていく考えなのか。 (4) 今後、各種団体等(防災消防関係・農業漁業関係・商工関係・福祉関係・交通安全団体・小中学生・PTA関係・その他)との懇談会は考えていないのか。	町 長 教育長
2 20年30年後の「町づくり」について 「人口減少、特に少子化対策」について、今年4月に「人口戦略会議」が公表した「消滅可能性自治体」から、本町は幸いにして除外された形となったものの、実際問題として、なお喫緊の課題である。よって、以下の事について伺う。 (1) 本町の少子化対策は何にポイントを置いて計画や対策を実施する考えなのか。 (2) これまでの政策や対策・方策は検証されているのか。 ア 現状の「移住・定住対策」で十分と考えているのか。もし、不足部分や強化する点があればどのようなことを考えているのか。 イ 公表された本町の若年女性の推計は、今後の町づくりに、どのような影響を及ぼすと考えられるのか。	町 長

通告番号	3	5番 大和 晴美 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
1 ヒトパピローマウイルス（HPV）感染症を防ぐワクチンについて 令和4年にHPVワクチンの積極的勧奨が再開され、併せて積極的勧奨差し控えの影響を受けた世代に対してもキャッチアップ接種が開始された。 （1）キャッチアップ対象者に個別通知を実施しているが、キャッチアップが令和6年度で終了することや3回の接種完了まで6か月を要することを周知徹底する考えはないか。 （2）コロナ禍において困難であった「子宮頸がん予防講演会」を開催する考えはないか。 （3）日本では2020年12月に肛門がんなどの予防を目的として9歳以上の男性にも4価ワクチンを接種できるようになった。男性へのワクチン接種について周知する考えはないか。 （4）希望する男性へ本町独自で接種費用を助成する考えはないか。	町 長
2 空き家対策について 令和5年10月～6年2月に開催された地区懇談会においても、生活環境とまちづくりの両面から空き家に関する要望が多かった。 （1）空家等対策計画策定事業の進捗について伺う。 （2）空き家除去と、その跡地の有効活用を促進するため、除去後の土地の固定資産税の減免制度を導入する考えはないか。 （3）住まいの売却や相続などをまとめた「住まいの終活ノート」を検討する考えはないか	町 長

通告番号	4	9番 岩佐 秀一 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
1 河川管理について 今年もまもなく梅雨の時期に入り、長雨や台風による河川氾濫等が毎年のように心配される。地域の安全・安心を守るため、河川決壊・氾濫等防止対策についての考えを伺う。 (1) 2級河川である坂元川の浚渫等について、管理者である県にどのように依頼しているのか。特に、上流部については土砂・雑草等がたい積し、河床が埋まっている現状であるが、その改善策は。 (2) 谷中川等の町管理河川は、計画的な管理が行われていると思うが、坂元川と同様に、土砂が溜まり、雑草が繁茂している状態が目につく。災害防止の観点から、どのような改善策を検討しているのか。	町 長
2 害虫駆除支援について 昨年は、カメムシによる斑点米が発生し、コメの品質の低下や不稔米により、多くの農家等で減収が発生した。近年の異常気象等に伴い、今年も全国的にカメムシの大量発生が予想されることから、今後の防除についての考えを伺う。 (1) 令和4年度以降中止している農薬等の航空防除を再開する計画はないのか。 (2) 殺虫剤の購入補助を実施しているが、今後拡充する計画はないのか。	町 長

通告番号	5	10番 齋藤 俊夫 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
1 組織力を活かした町政運営の展開について 行政が複雑・多様化する中、町が抱える諸課題解決に向け、町長を中心に如何にして組織力を発揮するかが問われている。組織力を活かした円滑な町政運営の展開に関して、現状と方策を伺う。 (1) 中途退職者が増加傾向にあって、組織の弱体化や住民サービスの低下が懸念される。年齢階層のバランス確保など一定のマンパワーを確保し、組織力を維持・向上させるための課題と方策について (2) 組織力発揮には、職員間の関係はもとより、特別職と職員とのコミュニケーションや信頼関係構築による適切な組織管理、的確な事務事業の進行管理が求められるが、その現状と方策について	町 長
2 ハラスメント対策の強化による町のイメージアップについて 町職員が安全で安心して働くためには、組織内部だけでなく、外部からのハラスメント対策が講じられた職場環境を整えることが必要である。また、町全体としても、ハラスメント対策を講じイメージアップを図ることが避けられない状況にある。これまでの答弁を踏まえた認識と方策を伺う。 (1) 去る3月と4月に役場窓口で相次いだ、職員に対する由々しき事案に関する詳細な状況及び対応について (2) 4月のケースは、一昨年12月と昨年12月の定例会で取り上げられた方によるものであり、その際の答弁では、再発防止に向けてそれ相応のことを述べている。それにも関わらず度重なる事案が発生したことを踏まえた職員を護る毅然とした姿勢及び、ハラスメント対策の強化について (3) 去る3月定例会で傍聴席から議会を冒涇し、議会制民主主義を否定する由々しき発言が公然と行われ、4月には、来場者で賑わう「夢いちごの郷」のイベント会場の雰囲気壊し、思わず来場者が眉をひそめ立ち去る事案が発生している。 何れのケースも自治会役員の立場にある方のTPOを弁えない言動であり、4月のケースは前述(2)の方によるもので言語道断である。そうした事態を踏まえれば、区長委嘱関係規程に「適格要件」を盛り込むべきは必然であり、早急な対処が求められている。改めて、その認識と方策について	町 長

通告番号	5	10番 齋藤 俊夫 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
3 真摯な議会对応による合意形成と信頼関係の構築について 地方自治は二代表制であり、町長と議会はアクセルとブレーキの関係に例えられ、本来、対立関係にあるが、目指すところは同じである。 町長は、公約の一つである「議会との連携と真摯な対話」と議員経験を踏まえ、真摯な議会对応により合意形成を図られることが、町民福祉の向上と町勢の発展に繋がり、ひいては、執行部と議会の良好な関係構築に資することとなる。これまでの対応を振り返り、これからの円滑な議会对応に向けた所見を伺う。 (1) 議会軽視の対応で混乱を招かないためには、言行不一致や一方的な思い込みはせず、適時適切な提案と説明責任を果たすことが求められる。その認識と方策について伺う。 ア 議員当時、執行部に対してタイムリーな全員協議会開催による説明機会確保を求めていたが、立場が替わり、坂元地区定住促進事業や震災慰霊碑敷地内へのトイレ設置など、特定事案に対する一方的な思い込みが強すぎ、議案提出前の全員協議会への説明を怠ったことについて イ 全員協議会での説明は本議会に向けた事前説明であるにも関わらず、一昨年12月定例会における公務執行妨害罪相当事案に対する答弁で、全員協議会で説明したので回答は控えると連発した姿勢は、説明責任を果たしていないことについて ウ 提案権を有する町長は「タイムリーな提案と説明責任」を果たし、時には、速やかな合意形成を図るため、チェック、監視する立場の議会に「譲歩し、折り合いをつける」必要がある。また、議会としても「対決より解決」の姿勢が肝要であり、「政策本位で判断」する必要があるとする考えについて	町 長

通告番号	6	11番 岩佐 孝子 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
1 行ってみたい、来てみたい、そして住みたいとなる町づくりについて 東日本大震災により甚大な被害を受けた我が町は、復旧から復興、そして再生へと全力を注いで取り組み、震災復興事業については、ほぼ完遂したところであるが、残された課題もあり、未だ解決の糸口が見えないことなどから、次のことについて伺う。 (1) 公共の施設である町東公園や慰霊碑は完遂した事業なのか、完遂していない事業なのか。完遂していないのであれば、その内容と今後の取り組み方について。 (2) 全国的な課題でもある待機児童の解消、及び子育て環境の充実を図るため、坂元地区定住促進事業と関連のある保育所の建設について、具体的な考えがあるのか。	町 長
2 さらなる町の知名度アップについて 大震災を契機に、全国各地から温かいご支援を頂き、ここまで復旧・復興を成し遂げてきたところである。 幸い、今でも幾度となく来町して下さっている多くのボランティアの方々をはじめ、地域おこし協力隊員も今年度から複数着任して頂いた一方で、町の認知度については、残念ながら、未だに県内でも低いと感じる場面があることから、次のことについて伺う。 (1) 今後、町の知名度や魅力度をアップさせる施策（例えば町のPR大使など）について。	町 長

通告番号	7	3 番 遠藤 龍之 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
1 町営住宅の取り組みについて (1) 長寿命化計画に基づく取り組みの現状は。 (2) 町営住宅の入居者募集、町営住宅から復興公営住宅への移転の取り組みの現状は。 (3) 一人暮らし、二世帯の入居状況は。 (4) 一人暮らしの高齢者、認知症の増加に伴う対策は。	町 長
2 学童保育の取り組みについて こども家庭庁の創設により、学童保育を児童館などと同じ「成育部門」の「相談対応や情報提供の充実、全てのこどもの居場所づくり」として位置付けているが、次の点について伺う。 (1) 適正規模は確保されているか。 (2) 指導員の仕事をどう位置づけているか。 (3) 小学校再編に伴う対策（校地・校舎等の後活用を含む）は、今から進めるべきだが。	町 長
3 第6次山元町総合計画の取り組みについて 「きらりやまもと！みんなでつくる笑顔あふれるまち」を目指して、2019年度にスタートした「第6次山元町総合計画」も、ローリング方式で取り組まれた実施計画に基づく前半の取組を経過し、新たに後半5年間の実施計画が示されているが、次の点について伺う。 (1) 前期5年間の実績について、どのように評価しているのか。とりわけ、職員の人材育成、職員が能力を発揮できる職場環境の整備についての取り組みは計画通りに進んできたのか。 (2) 総合計画の期間に示されているローリング方式に基づく実施計画の今後の取り組みは。 (3) 令和5年12月に示された今回の実施計画は、当初計画に対し変更があるのか。また、今回の実施計画なかで、特にアピールする政策等について。	町 長